

社会文教委員会

期日：平成 27 年 3 月 10・11 日 9:00

場所：第一委員会室

1 開会

2 委員長挨拶

3 理事者挨拶

4 議案審査

- (1) 議案第 15 号「飯田市障害者地域生活支援事業及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の施行に関する条例の一部を改正する条例の制定について」
- (2) 議案第 16 号「飯田市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について」
- (3) 議案第 17 号「飯田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について」
- (4) 議案第 68 号「平成 27 年度飯田市介護保険特別会計予算（案）」 【予算書 85 頁】
- (5) 議案第 18 号「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について」
- (6) 議案第 19 号「飯田市病院等料金条例の一部を改正する条例の制定について」
- (7) 議案第 21 号「学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例の制定について」
- (8) 議案第 22 号「菱田春草生誕地公園条例の制定について」 【補足資料】
- (9) 議案第 51 号「公の施設の指定管理者の指定について（飯田市営市民プール及び飯田運動公園プール）」
- (10) 議案第 52 号「公の施設の指定管理者の指定について（飯田市人形浄瑠璃施設）」
- (11) 議案第 54 号
「平成 26 年度飯田市一般会計補正予算（第 8 号）案のうち当委員会付託分」
【別紙付託表 1】
- (12) 議案第 55 号「平成 26 年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第 5 号）案」

- (13) 議案第 56 号「平成 26 年度飯田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）案」
- (14) 議案第 57 号「平成 26 年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）案」
- (15) 議案第 62 号「平成 26 年度飯田市病院事業会計補正予算（第 3 号）案」
- (16) 議案第 65 号「平成 27 年度飯田市一般会計予算（案）のうち当委員会付託分」
【別紙付託表 2】
【補足資料】
- (17) 議案第 66 号「平成 27 年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）」 【予算書 3 頁】
- (18) 議案第 67 号「平成 27 年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）」【予算書 63 頁】
- (19) 議案第 74 号「平成 27 年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）」
【予算書 277 頁】
- (20) 議案第 76 号「平成 27 年度飯田市病院事業会計予算（案）」 【予算書 317 頁】
【補足資料】
- (21) 議案第 81 号「飯田市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について」
- (22) 議案第 82 号「飯田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について」
- (23) 議案第 83 号「飯田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について」
- (24) 議案第 84 号「飯田市指定介護予防支援等の事業に係る人員、運営及び介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」
- (25) 議案第 85 号「飯田市立病院介護老人保健施設条例の一部を改正する条例の制定について」

5 所管事務調査の報告について

資料 No. 1

6 閉会

議案第54号 平成26年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案
付託表 |

【社会文教委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
13 国庫支出金	1 国庫負担金	3 民生費国庫負担金	12
		4 衛生費国庫負担金	12
	2 国庫補助金	10 教育費国庫補助金	14
14 県支出金	1 県負担金	3 民生費県負担金	14
		4 衛生費県負担金	14
	3 委託金	10 教育費委託金	16
16 寄附金	1 寄附金	3 民生費寄附金	18
		10 教育費寄附金	18
19 諸収入	4 受託事業収入	3 民生費受託事業収入	20
		10 教育費受託事業収入	20

2 歳出

款	項	目	議案頁
3 民生費	1 社会福祉費	1 社会福祉総務費	30
		2 社会援護費	32
		3 障害者福祉費	32
		4 老人福祉費	32
		7 医療費給付費	34
	2 児童福祉費	4 発達支援センター費	34
		5 民間保育所費	34
		9 障害児支援費	34
	3 生活保護費	1 生活保護費	34
		2 福祉企業センター費	36
4 衛生費	1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	38
		2 母子保健事業費	38
10 教育費	1 教育総務費	2 事務局費	54
	4 幼稚園費	1 幼稚園費	54
	5 社会教育費	3 文化財保護費	56
		4 公民館費	56
		5 図書館費	56
		6 美術博物館費	58
		7 文化会館費	58
	8 歴史研究所費	58	
6 保健体育費	4 学校給食費	60	

3 繰越明許費関係分

議案第65号 平成27年度飯田市一般会計予算(案)
付託表 2

【社会文教委員会】

1 歳入

款	項	目	議案頁
11 分担金及び負担金	2 負担金	3 民生費負担金	24
		4 衛生費負担金	26
		10 教育費負担金	26
12 使用料及び手数料	1 使用料	3 民生使用料	28
		4 衛生使用料(保健課分)	28
		10 教育使用料	30
	2 手数料	10 教育手数料	34
13 国庫支出金	1 国庫負担金	3 民生費国庫負担金	36
		4 衛生費国庫負担金	38
	2 国庫補助金	3 民生費国庫補助金	40
		4 衛生費国庫補助金(保健課分)	42
		10 教育費国庫補助金	46
	3 委託金	3 民生費委託金(福祉課分)	48
10 教育費委託金		50	
14 県支出金	1 県負担金	3 民生費県負担金	50
		4 衛生費県負担金	52
	2 県補助金	3 民生費県補助金	52
		4 衛生費県補助金(保健課分)	56
		10 教育費県補助金	62
	3 委託金	3 民生費委託金	64
10 教育費委託金		66	
15 財産収入	1 財産運用収入	1 財産貸付収入(福祉課、学校教育課分)	66
16 寄附金	1 寄附金	10 教育費寄附金	68
19 諸収入	3 貸付金元利収入	3 民生費貸付金元利収入	70
		10 教育費貸付金元利収入	72
	4 受託事業収入	3 民生費受託事業収入	72
		10 教育費受託事業収入	72
	5 雑入	1 雑入(関係分)	72

2 歳出

款	項	目	議案頁
3 民生費	1 社会福祉費	危機管理室分、男女共同参画課分及び市民課分除く	166
	2 児童福祉費		200
	3 生活保護費		238
4 衛生費	1 保健衛生費	保健課分	256
10 教育費	1 教育総務費		434
	2 小学校費		444
	3 中学校費		458
	4 幼稚園費		472
	5 社会教育費		474
	6 保健体育費		534

3 債務負担行為関係分

所管事務調査報告書

委員会名	社会文教委員会
調査研究テーマ	買い物困難者、ごみ出し困難者への支援について
テーマ設定の背景	<p>平成24年度議会報告会において、「買い物困難者対策」や「集積所まで遠いといった高齢者のごみ出し困難者への対策」への充実を求める意見が出され、委員会としても引き続いて検討することとした。</p> <p>なお、平成24・25年度も同じテーマにて社会委員会では、調査研究を実施している。</p>
調査研究の経過・結果	<p>〔課題整理〕</p> <p>(1)買い物弱者対策</p> <p>ア 近所の店舗が閉店した、交通手段がないなどの理由で自身で買い物ができない高齢者が増加している。</p> <p>イ 乗り合いタクシーの利便性向上や商品の宅配、店舗への送迎などを求める声もある</p> <p>(2)高齢者のごみ出し困難者対策</p> <p>ア 介護保険制度上では、ホームヘルパーがごみ出しまで手伝えない現状がある。</p> <p>イ 地域の民生委員や環境委員等が手伝っている場合もあるが、増加する高齢者に今後対応できるか不安がある。</p> <p>地域の支え合いでは対応できない状況が生じた場合、福祉的観点からの収集運搬ができないか。</p> <p>ウ ごみの集積場所が増えると、ごみを出しやすいとの声もある。</p> <p>エ ごみ出しの時間を変更できないか。</p> <p>〔取組経過〕</p> <p>平成25年 7月 2日 県外先進地視察の実施 (岡山県和気町の買い物弱者支援事業について)</p> <p>26年 2月13日 社会文教委員会協議会勉強会 (NPO法人生活応援ネットスキップ、龍江福祉委員会の代表者とごみ出し困難者対策について意見交換)</p> <p>26年 2月24日 所管部課長との意見交換 (ごみ収集時間等について)</p> <p>26年 4月15日 所管部課長との意見交換 (高齢者のごみ出し困難者対策及び買い物弱者対策について)</p> <p>26年 4月18日 社会文教委員会協議会勉強会の開催 (高齢者のごみ出し困難者対策について意見交換)</p> <p>26年 5月26日 社会文教委員会協議会勉強会の開催 (高齢者のごみ出し困難者対策について)</p> <p>26年 7月23日 社会文教委員会の開催 (関連事業の前年度実績評価)</p> <p>26年 8月 4日 社会文教委員会協議会の開催 (関連事業の前年度実績評価)</p> <p>26年12月11日 社会文教委員会協議会の開催 (高齢者のごみ出し困難者対策について・市から報告)</p> <p>〔調査研究結果〕</p> <p>NPO法人、まちづくり委員会等と意見交換を行うなかで、課題を整理した。市側からも実態を聞き、また、委員会として検討を行った。</p>

所管事務調査報告書

(1) 買い物弱者対策

ア 現況では、居住する地域から商店等がなくなることへの不安と戸惑いが、その要因にあると思われるが、民間での様々な事業展開が図られていることも踏まえ、状況により、市民の声を聞きながら対応をする。

イ 委員会としては、民間での事業展開の推移を見守りたいと結論づけた。

(2) 高齢者のごみ出し困難者対策

ア 市においても関係する5部署で協議したが、市の協議結果が高齢者のごみ出し困難者対策としては、一部満足できるものではなかった。

イ 再度、市へ検討を依頼。ごみ出し困難者対策として、廃掃法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）の運用方法の検討にまで至ったが実施は困難と委員会としては判断した。現在のところ、親族や地域の相互扶助により、対応している状況であるが、今後、課題として顕在化することが予想されるため、「高齢者の環境問題」として所管にて研究を深められたいと結論づけた。

ウ 「朝7時までに集積所へごみを出す」という全市統一のルールを、個別の事情に応じられるように変更することは、地域住民の皆さんによる適正な管理体制への多大な影響が想定され、困難であるとした市の回答については、委員会として了解した。

所管事務調査報告書

委員会名	社会文教委員会
調査研究テーマ	地域で子どもを育てるには
テーマ設定の背景	<p>平成25年度の議会報告会分科会でテーマとしたが、改めて、「子どもたちが、生まれた地域を愛し、やがて地域の担い手となる人材に育っていくことを願って、地域の特性を活かしながら学校と一緒に取り組んでいくための「地域づくり・人づくり」を、どのように進めていくことが求められるか」を目的に調査研究した。</p>
調査研究の経過・結果	<p>〔課題整理〕</p> <p>(1) 飯田市小・中連携一貫教育を、どのように推進しているか (2) 家庭の役割をどうとらえるか (3) 子どもと地域と、どのようにしてつながりを求めていくか</p> <p>〔取組経過〕</p> <p>平成25年7月1日 県外先進地視察の実施 (広島県呉市の小中一貫教育の取り組みについて)</p> <p>25年10月7～15日 議会報告会開催 (分科会テーマ「地域で子ども育てるには」)</p> <p>26年2月13日 社会文教委員会協議会勉強会の開催 (小中連携・一貫教育の実施状況について)</p> <p>26年4月22日 市内現地視察の実施 (竜丘小学校における実践状況について)</p> <p>26年7月14日 県外先進地視察の実施 (茨城県つくば市の小中一貫教育の取り組みについて)</p> <p>26年7月23日 社会文教委員会の開催 (関連事業の前年度実績評価)</p> <p>26年8月4日 社会文教委員会協議会の開催 (関連事業の前年度実績評価)</p> <p>26年9月18日 関連事業に対して市へ提言</p> <p>26年10月15日 飯田市公民館長会との合同研修会の実施 (川路小学校における実践状況の研究及び意見交換)</p> <p>26年11月20日 社会文教委員会協議会勉強会の開催</p> <p>26年12月11日 社会文教委員会協議会の開催</p> <p>26年12月17日 社会文教委員会協議会の開催</p> <p>27年1月30日 政策討論会の開催</p> <p>27年2月16日 社会文教委員会協議会勉強会の開催</p> <p>27年3月11日 社会文教委員会協議会の開催</p> <p>27年3月20日 全員協議会の開催</p> <p>〔調査研究結果〕</p> <p>1 「飯田型」の小中連携・一貫教育の推進にあたっては、「地域」の関わりが重要な位置付けとなることから関係する機関等と情報共有しながら、調査研究に取り組んだ。</p> <p>(1) 市内現地視察（竜丘小学校での実践状況）を実施した。地域の人が講師となり、学習活動を実践している。</p> <p>(2) 県外先進地視察（茨城県つくば市）では、小学校と中学校が離れた場所にあるながら、情報通信技術を用いて取り組んでいること、子どもの発達に応じて、4・3・2制をとっていること、「つくばスタイル科」を創設し、英語教育にも力をいれていることを視察した。</p>

所管事務調査報告書

(3) 事業の市への提言として、事業としては「拡大」次の2点を提言した。
ア 「地域連携」の成果が、今一つ見られないことから、その進捗状況も市民への広がり小さい。推進の成果を測る新たな指標の導入など、事業の推進体制を整えつつ、さらに積極的に推進されたい。

イ 子どもを育てている世代（PTA）の参画を検討されたい。

(4) 公民館長会との合同研修会から、「川路通学合宿」の取り組みは、地域の施設を利用することによって地域と学校を結び付ける「提案」が、関係者の手によって練り上げられ、家庭の教育というものに、公民館、学校が入っていくことを実践した革新的な事例である。

一方、意見交換の中で、学校と地域との関係は現状では「閉じた学校」との印象があるとの意見もあった。（保護者（PTA）が主体）

学校が抱え込まず地域に任せること、学校と地域が理解し合うことが大切であり、これらのコミュニケーションを図る時に公民館の存在があることが、他の（川路地区以外）事例にも見られる。

2 2年間の活動を踏まえ、「地域で子どもを育てるには」として、政策提言をまとめ、議会として市長へ手交する。

所管事務調査報告書

委員会名	社会文教委員会
調査研究テーマ	公共施設におけるバリアフリー化の推進及びユニバーサルデザインの導入について
テーマ設定の背景	平成25年度の議会報告会において、「文化会館においてすべての人が舞台へ上がれないのではないか」との意見が出され、これを受け、委員会としても「公共施設の新・改築が進むなか、施策の目的に合致したバリアフリー化の推進及びユニバーサルデザインの導入が図られることが重要である。加えて既存施設において、同様の改善への対応はどのような現状にあるか」調査することとした。
調査研究の経過・結果	<p>〔課題整理〕</p> <p>(1)既存の施設、及び、新・改築が、予定もしくは進められている施設のバリアフリー化は図られているか。</p> <p>(2)市全体から見る施設の有効利用と施設の維持の観点から、将来展望をどのように考えるべきか。</p> <p>〔取組経過〕</p> <p>平成26年 4月22日 市内現地視察の実施 (文化会館、飯田市公民館、鼎公民館・鼎文化センター)</p> <p>26年 7月22日 社会文教委員会の開催 (関連事業の前年度実績評価)</p> <p>26年 8月 4日 社会文教委員会協議会の開催 (関連事業の前年度実績評価)</p> <p>26年 9月18日 関連事業に対して市へ提言</p> <p>〔調査研究結果〕</p> <p>(1)文化会館、飯田市公民館、鼎公民館・鼎文化センターのバリアフリーの状況について現地視察を実施した。 一部の施設について、バリアフリー化されていない箇所が散見された。</p> <p>(2)関連事業の前年度実績評価において市から説明を受けた。</p> <p>(3)事業の市への提言として、次の2点を行った。 ア 老朽化が進む施設の改修については、複数の施設の個々の在り方や再編成も含めて、人口動態と施策の方向性を鑑みるなかで研究を急がりたい。 イ バリアフリーが施されていない現状（箇所）は、早急に解決されたい。</p> <p>(4)9月18日の提言提出をもって、本テーマについて調査研究を終了する。今後は、行政評価を通して、状況を確認していく。</p>

所管事務調査報告書

委員会名	社会文教委員会
調査研究テーマ	元気で長生きできる「健康寿命延伸都市」を目指して
テーマ設定の背景	<p>未曾有の高齢化社会において、平均寿命以上に健康寿命の重要性が高まってきており、また、健康寿命の伸びは、膨大する医療費、介護費の社会的負担の抑制にも大きく貢献することから、健康寿命は個人の問題に留まらず家族、社会全体での課題となっている。</p> <p>そこで、個人に留まらず、家族、社会全体の課題として何が出来るか知恵を出し合いたいとして、テーマを設定。</p>
調査研究の経過・結果	<p>〔課題整理〕</p> <p>1 介護保険制度の改正関連・国保税条例等議案の審査から</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 少子高齢化が一段と進む中、高齢層の増加による医療費の上層などにごう対応していくか</p> <p>2 議会報告会から</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 退職後の男性の社会・家庭への参加の難しさ</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 市が進める介護予防教室等に対する長い支援を求める声</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 病気になったり介護が必要となった時に支える仕組みや社会づくりをより確かなものにしていくことも欠かせない</p> <p>〔取組経過〕</p> <p>平成25年7月3日 県外先進地視察の実施 (広島県尾道市の尾道市民病院の取り組みについて)</p> <p>26年3月8日 社会文教委員会の開催 (介護保険制度の改正に関し、所管事務調査とする)</p> <p>26年5月9日 社会文教委員会協議会勉強会の開催</p> <p>26年6月13日 社会文教委員会の開催 (介護補年制度の改正に関し、意見書の提出について審査)</p> <p>26年6月20日 26年第2回定例会において、「介護保険制度の運用に関する意見書」を議決。関係機関へ意見書を送付。</p> <p>26年10月1～8日 議会報告会の開催 (分科会のテーマ「元気で長生きできる「健康寿命延伸都市」を目指して」)</p> <p>26年11月20日 社会文教委員会協議会勉強会の開催</p> <p>26年12月11日 社会文教委員会協議会の開催</p> <p>26年12月17日 社会文教委員会協議会の開催</p> <p>27年1月30日 政策討論会の開催</p> <p>27年2月16日 社会文教委員会協議会勉強会の開催</p> <p>27年3月11日 社会文教委員会協議会の開催</p> <p>27年3月20日 全員協議会の開催</p> <p>〔調査研究結果〕</p> <p>2年間の活動を踏まえて、今後の人口減少、高齢社会に向けた提言を委員会としてまとめ、「だれもが元気で長生きできるまちを目指して」として、議会として市長へ手交する。</p>